(2)　姫路市観光戦略プラン 2027-2031 の施策体系

姫路市の観光の将来像　（仮）「姫路城の誇りを力に、地域の魅力を紡ぐ」～サブタイトル未定～

総合計画	行動指針	人・地域	活力			土台			
	目指す姿を実現するための市の取組の方向性	ア 観光の振興に寄与する人材の確保・育成	イ 生きた歴史・文化・魅力を体感できる観光コンテンツの充実	ウ 姫路の歴史的・文化的な魅力を伝えるシティプロモーションの展開	エ 国内外から高く評価されるコンベンション都市の実現	オ 観光客に寄り添った受入環境の整備	カ 地域一体となった戦略的・継続的な地域づくり		
共通課題		姫路城の求心力がまち全体の周遊に繋がっておらず、滞在の充実や地域経済・市民生活への還元が限定的である							
KGI 指標		旅行消費額、経済波及効果、観光振興に対する市民の評価							
重点課題		▶ 観光を抱える人材不足と事業者・地域間の連携不足	▶ 姫路城以外の観光資源への周遊と滞在を促すコンテンツの不足 ▶ 姫路城以外の観光資源に関する情報発信とプロモーションの不足 ▶ MICE・スポーツ等の来訪者を宿泊・観光消費に繋げる仕組みの不足			▶ 二次交通・外国人観光客向け受入環境の不足と観光客集中による地域負荷 ▶ 観光データの収集・分析・活用と効果検証の不足			
基本方針		１　観光人材の育成と推進体制の強化	２　多様な魅力の創出と観光需要の拡大			３　受入環境の充実と持続可能な観光地域づくり			
戦略		Ⅰ　観光人材・事業者の育成と広域連携で地域を牽引する体制の強化	Ⅱ　地域の魅力を掘り起こし、滞在時間の延長と質の高い体験を生むコンテンツの充実	Ⅲ　歴史・文化資源を活用した認知拡大と新たな誘客を生む情報発信の強化	Ⅳ　MICE誘致と高い波及効果を地域に還元する取り組みの強化	Ⅴ　快適に周遊し、地域の魅力を深く味わえる受入環境の充実	Ⅵ　観光データを活用した持続可能な観光地域づくりの推進		
戦略と直接的に関係する主なKPI 指標		①	②　③　④　⑦	②　④　⑤	⑤	③　④　⑦　⑧	④　⑧		
分野		❶観光人材・事業者の育成	❷広域連携の推進	❸滞在時間の延長	❹観光資源の磨き上げ	❺誘客・認知拡大	❻MICE 誘致の推進	❼二次交通・アクセスの改善	❽受入環境の整備
取り組むべきこと（個別施策）		・観光事業者の研修・スキルアップと雇用につながる観光産業の育成 ・若手・女性人材等の確保とローカルガイドの育成	・姫路をゲートウェイとした播磨地域の広域周遊の促進 ・広域 DMO 等との連携強化	・時間帯・季節等を活用した体験型コンテンツの拡充 ・ガイド付きプランの充実	・歴史･文化資源の価値を活かした魅力向上 ・既存資源のストーリー化と高付加価値ツアーの造成	・市民・事業者との共創による観光魅力の発信 ・観光データを活用した国内外向け戦略的プロモーションの展開	・交流人口･経済波及効果・都市ブランド向上につながるMICE・スポーツイベント誘致 ・DMO・スポーツコミッションを核とした地域一体型のMICE・スポーツイベント等の受入・連携体制の強化	・観光地間の移動利便性向上 ・公共交通・二次交通の利用促進	・案内表示・案内所・トイレ・休憩所等の充実 ・多言語対応やユニバーサルツーリズム等の推進

分野	❾観光データの収集・分析	❿消費単価の向上	⓫観光公害への対策	⓬持続可能な観光				
取り組むべきこと（個別施策）	・デジタルチケット等による観光客属性･動向分析､受入予測	・地元食材や工芸品等を活用した商品・サービスの創出 ・道の駅等の販売拠点の整備・活用と市内周遊の促進	・混雑状況の把握・情報提供による来訪者の分散 ・観光マナー・地域ルールの啓発	・地域還元と市民・事業者の参画推進 ・持続可能な観光推進と DMO 体制強化				

KPI 指標	①観光関連事業への参画事業者数	②延べ宿泊者数	③一人当たりの旅行消費額	④城周辺エリア以外の主要観光施設入込客数	⑤情報発信を契機とした来訪割合	⑥コンベンション経済波及効果額	⑦平均滞在時間	⑧姫路城来城者の平準化率